

清松園デイサービスセンター運営推進会議録

事業所名	清松園デイサービスセンター	サービスの種類	地域密着型通所介護施設
事業所住所	北九州市門司区大字畑1960番地		
開催日時	平成29年9月5日(月曜) 13:50~15:00		
開催場所	清松園デイサービスセンター内 娛樂室		
出席者 氏名 構成区分等	清松園デイサービスセンター ※ ご利用者様とご家族様の氏名は個人情報保護のため記載致しません。 入所者代表 (1)名 家族代表 (1)名 所長 天野弘隆 生活相談員 山本朱美 地域住民代表 尾ノ上町内会長 古田 伸吉 様 北九州市社会福祉協議会職員 介護サービス相談員 栗原久子 様 地域密着型通所介護に知見を有する者 日赤豊寿園通所介護係長 荒木美奈 様		

平成29年度 第1回 清松園デイサービスセンター 運営推進会議録

レジュメ(式次第)通り進行を所長天野が行う。

運営会議参加者の紹介。利用者ご家族様はイニシャルとするところではあるが、ご家族様自身からお名前を名られる。また、運営推進会議の趣旨説明は前回開催時とメンバーが同じであったため、了承のうえ省略。

今年度4月~8月までの利用状況報告を行う。前年度と介護別、利用平均値別に見比べていただく。

利用状況は昨年度平均 6.82/日 だったのが、今年は 6.16 に落ちている。介護度別では、昨年度要介護5がゼロであったが、今年は要介護5の利用者が居る。延でいくとH28年度4月~8月ゼロに対し、今年度は26名。

要介護4も73名→116名に増えているもののその他が大きく減っている。

委員さんからは今年は暑かったのが利用者外へ出たくなかったのでは？

というような話も聞かれたが、清松園の特色として「清松園デイサービスセンター予定表」を見ながら1カ月に行なっているレクリエーションや活動などについての話をし、より充実できるよう努力を引き続き行なっていくようにしたいと話をする。今月の4日の日にお寺さんの彼岸法要を特養の仏間で行いデイサービスの利用者も一緒にお経を読んだ事を伝えると良いことでしたねとお言葉をいただく。(宗教的なこともあるので、配慮もしていることも合わせて伝える)

職員の状況について

介護保険等の制度上の配置などは満たしていることを伝え、清松園での職員は常に研修等も行っており、平成29年度の研修予定表を見ていただきながらどういった研修が必要でどのような研修を行っているか報告を行う。

例えば3ヶ月に1回の感染症研修のほか、事故予防、認知症等の研修。

ボランティアについては前回と変わりなし。ただ、地域との連携なども今後は考慮し、松ヶ江北校区の行事などにも積極的に参加したい。

平成29年4月~8月までの行事について

4月に特養で小倉祇園太鼓(正式には小倉和太鼓)を見学しデイサービスの利用者もバチを持って和太鼓を叩いた事を伝える。また、その他の行事等についてもレジュメ通りに説明。

委員さんより質問あり。避難訓練を2ヶ月に1回行っているが、どういった事を行っているのか？

回答:特養が2ヶ月に1回行っている。それに合わせ非常ベルを鳴らすのでデイでも行っている。職員へ徹底しているのは、慌てない事と回数を多くすることで、動きや役割等の周知徹底が行えるためと説明。

委員さんより質問あり。避難訓練の日時は告知せずに行ったほうがより効果的ではないか？

予定日を告知してしまうと、準備をしたり構えてしまうことがあるので。

回答:日時を決めずに行うのも良い案だと思います。職員がいつも通り行えるか実施してみたいと思います。

利用者様がびっくりして怪我をしないよう配慮もします。

その他行事などについては、特にありませんが、センターのPRとして、写真などを見せ、デイサービスで農園を
しており、今年はメロンを収穫！利用者で食したこと等を紹介。他にもナスやキュウリ、トマトなどたくさん生りました。

その他。幸いなことに苦情報告は挙がっていません。

家族の方からも大変お世話になっている。苦情などは一切ありませんと労いの言葉をいただく。

また、事故報告もありません。ヒヤリハットについては、気がついたことを何でも良いから書こうと声をかけているが
なかなか出てこないのが現状です。

前回の運営推進会議より

・本会議に参加しやすい日時などの検討。

社会福祉協議会は日曜祝日及び17時以降に来るのは難しい。家族様より。職員の勤務内で行うことがベストだと思
う。

家族によっては夕方以降や就労状況によっては参加が困難だと思うが、会議の日は1ヶ月以上前から分かっ
ているので参加はできるのではないかと。

平日の日中で様子をみてはどうか。ということで、3月も平日の日中に行なうこととする。

・デイサービスへの要望や意見を伝えやすいような配慮は。

委員さんより、不満や意見というとなかなか言えない。要望として聞いてあげるようにする。

また、無記名で投書などをしてもらいより、記名をもらった方がよい。その理由として、経験談でお話をされるが、
とんでもない不可能な事をどんどん書いてくる可能性がある。記名があった方が解決や検討も早くできる。

・清松園ショートステイを復活させて欲しい。

なぜショートステイを廃止しなければいけなかったか。利用者が極端に減り、なおかつ職員の確保(3:1)が困難
となってきた。特養での就労者は清松園に限らずどこの施設でも不足している。ショートステイの利用もコンスタ
ントにあるわけではないので、そのためだけに高い賃金で職員を確保していくことが難しい。

委員さんより、賃金のはなしが出たが現実どうなのか？やはりメディアである通り3Kだから人が集まらないのか？
といった質問がある。

一概には言えないと思うが・・・と返答。

今後も地域の方やご家族様に知恵をいただきながら、運営に努めていきたいと締めくくる。

次回開催予定日	センター長確認 印
平成30年3月	